



地域で環境教育の実践を 弁華別中学校で“かんじき”作り

総合学習の一環として弁華別中学校（住友俊郎校長・児童数 38 名）で行われた“かんじき”作り。“環境教育の実践をしながら、地域を見直しながら役立つことに利用しよう”と 3 年サイクルで計画されたもの。一昨年は江別の道有林で枝打ち体験を行い、昨年のかんじきを作り、今年の 2 月に同中学校から約 5 キロメートル離れた地域の裏山までかんじきを履いて枝払いをし、来年には降ろしてきた枝で炭を作る予定。地域で造園業を営む柴田さんと道の「森づくりセンター」の指導で、水でしなりやすくしたコクワを使い、つるを曲げ針金を巻いてねじ止めをするなど、一人ひとりの生徒が真剣に作製していました。（10 月 28 日）



広報誌で紹介した写真を
希望者に提供します。

●お申し込み●

企画課広報広聴係 TEL 3-3069 へ



ぺったんぺったん 西保育所で「餅つき」

12 月初旬に各保育所で恒例の餅つきが行われました。西保育所では 108 人の園児が餅つきを体験。父母が途中まで仕上げたあと、園児の出番。「ヨイショ！ヨイショ！」と声が掛かる中、杵の重さに足をとられる園児もいましたが、元気よく餅をつきあげました。餅は雑煮風うどんとなり、楽しく食事をしていました。（12 月 10 日）

東保育所で独居高齢世帯への年賀状づくり

東・西保育所で構成する「幼年防火クラブ」の園児 31 人が、緑町の東保育所で、65 歳以上の独居高齢世帯に贈る年賀状に色塗りをしました。当別消防署が毎年実施しているもので、今年で 30 回目。年賀状は、来年の干支の羊の絵に「あけましておめでとうございます おじいちゃん、おばあちゃんへ 火の用心してね」と書かれた 370 枚を同署が用意。「防火」マークを背にした法被はっぴを着た園児達は、絵に好きな色を塗り、1 枚ずつ仕上げました。なお、完成した年賀状は、クリスマス時期に同署が郵送しました。（12 月 18 日）





道の社会貢献賞（統計功労）に 東裏の才田さん

永年、統計調査員として従事している才田剛夫さん（東裏在住・64歳）が、北海道の社会貢献賞（統計功労）を受賞しました。才田さんは、昭和48年から様々な調査員を30年余り務められ、現在も農林水産省実施の調査員を続けており、その功績が称えられたものです。なお才田さんは、昭和60年から15年間「当別町農業協同組合監事」、昭和53年から20年間、当別土地改良区総代を務めています。

財務省の業務などを説明 「財務行政懇話会」

北海道を取り巻く現在の財政環境・財務局の仕事内容について知ってもらおうと、北海道財務局が「ゆとろ」を会場に開いた「財務行政懇話会」。懇話会では、財務局と身近な生活との関わり合いについてビデオで紹介した後、国債発行額の変遷・財政構造改革や先行きを見通す必要性などについて同局職員が説明。約90人の来場者が興味深く聴講していました。

(11月26日)



“当別アンサンブルファミリー”が 5周年記念演奏会

当別中学校の吹奏楽部OBなど約60名で構成する「当別アンサンブルファミリー」が、総合体育館で結成5周年の記念演奏会を開きました。3部構成の演奏会では、第1部に「私のやさしいお父さん」などクラシック4曲、トランペット奏者のエリック宮城をゲストに迎えた第2部では、同楽団の演奏をバックに3曲を披露。3部は「マンボ・マンボ・マンボ」などポップス4曲を演奏。会場には450人の来場者が訪れ、吹奏楽器が奏でる心地よい音色に聴き入っていました。(11月24日)



「まちの駅 アウル」でツリーの飾り付け

弥生の「まちの駅 アウル」に立てられたクリスマスツリーに、同町内会育成会（大津正秀会長）の父母・子供達約20人でツリーの飾り付けを行いました。ツリーは町商工会が中心となり11月中旬に設置したもの。高さ約8m・幅約3mのトドマツに、電飾ライトを11月下旬に巻き付け、17時から23時までの夜間にはイルミネーションが点灯、クリスマスムードを高めていました。同町内会では来年度以降も飾り付けを行う予定、イルミネーションは2月中旬まで点灯される見込みです。(11月30日)



交流センターで北欧の伝統行事「ルシア祭」

スウェーデン交流センターで開かれた北欧の伝統行事「ルシア祭」。今年で17回目を迎えた同祭は、白夜で昼も薄暗くなる北欧の12月に“光の憧れ”を表現した行事。メインイベントの「ルシア隊列の行進」では、暗闇の中、ロウソクで灯した冠を被ったスウェーデン人のマリア・ストレムブラードさんを先頭に、スウェーデンヒルズの子供達を中心とした西当別地域の児童33人が、イタリア民謡「サンタルチア」を合唱しながら行進。クリスマスにちなんだ歌など数曲が披露された後、最後は「きよしこの夜」を来場者70人とともに合唱。場内は、幻想的な雰囲気にも包まれていました。(12月8日)